

科目分類	看護専門科目（母子看護学）	開講時期	1・2年	後期		
研究キーワード	母子看護学・グループ演習・文献レビュー					
科目名	母子看護学演習					
英文	Seminar of Maternal and Child Nursing					
選択／必修	選択	単位数（時間数）	2単位	30時間	授業形態	演習
担当教員	交野 好子 ・ 阪口 しげ子 ・ 茂庭 将彦 ・ 住本 和博 ・ 吉川 由希子 木下 珠希					
メールアドレス	y-katano@tsuruga-nu.ac.jp（交野） s-sakaguchi@tsuruga-nu.ac.jp（阪口） n-moniwa@tsuruga-nu.ac.jp（茂庭） k-sumimoto@tsuruga-nu.ac.jp（住本） y-yoshikawa@tsuruga-nu.ac.jp（吉川） t-kinoshita@tsuruga-nu.ac.jp（木下）	オフィスアワー		随時相談に応じます。 事前にメールでお知らせ下さい。		

授業目的	<p>1. 分野を専攻した学生の関心領域から課題を取り上げ、グループ演習を通して他の学生および複数の教員からの多角的な意見や助言を得、課題の分析・整理・統合できる能力を身に付ける。</p> <p>2. 演習で学修した成果を自身の研究に有効に活用できる。</p>
授業概要	<p>授業目的を達成するため、母子看護学分野を専攻した学生、担当する全教員の参加による組織的・集团的指導体制のもとでグループ演習を進める。課題に対しては先行研究の文献レビュー（国内外の文献のクリティーク）、並びに臨床現場に出向き、対象となる事例を実際に受け持たせてもらい課題に対応した看護を実践する。それを基にプレゼンテーション及びディスカッションにより学習を深める。</p>
授業計画	<p>第1回 導入・授業ガイダンス</p> <p>第2～5回 先行研究の文献レビュー</p> <p>第6・7回 学習課題について臨床現場で高度実践看護の実施</p> <p>第8・9回 高度実践看護体験を基にした看護内容の分析</p> <p>第10・11回 文献レビューと臨床体験学習課題との関連性に関する討論</p> <p>第12・13回 模擬研究課題および研究方法の設定と発表</p> <p>第14・15回 人を対象とする研究倫理（特に新生児や小児）特性、まとめ</p>
教材 参考文献等	必要時提示する。

成績評価 基準・方法	プレゼンテーション 40%、レポート 60%
履修要件	母子看護学分野の特論を履修していること
関連科目	研究方法論、母性看護学特論、周産期診断・治療看護学特論、小児看護学特論、母子看護学演習
留意事項 その他	<p>本演習は、母子看護学分野を専攻した学生が、学生間で選択した研究課題に対する予備的研究を共同で進めていく授業です。本演習で学修した研究手法を個人の特別研究遂行に活かすことを常に念頭に置いて学修して下さい。</p> <p>複数の学生と複数の教員で進めるグループ演習方式は、複眼的な思考の育成が期待でき、研究手法などに多様な視点や方法の可能性を拡大することができます。</p> <p>本演習を通して、他者との協働の在り方、研究遂行意欲の持続などについて幅広く学修されることを期待します。</p>